

学科名	電気電子工学科						
科目名	日本語 I						
科目区分	教養教育科目	単位数	1単位	開講時期	前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	青木志穂子						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>受講生は、この授業を履修することによって、</p> <p>1) 尊敬語と謙譲語の文型をしっかり覚えて敬語の基本を習得し、</p> <p>2) 大学生活の上で必要となる敬語の表現を、場面や相手との関係に応じて使い分け、</p> <p>3) ビジネス場面など、敬語での会話スタイルを適切に選択することによって社会参加をすることができるようになる。</p> <p>この科目の学修は、「近畿大学の教養教育の目的と目標」の5の達成に関与している。</p>						
日程と内容	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 第1課「訪問する」</p> <p>第3回 第2課「簡単にあいさつする」</p> <p>第4回 第3課「誘う」</p> <p>第5回 第4課「お願いする」</p> <p>第6回 第5課「断る」</p> <p>第7回 第6課「申し出る」</p> <p>第8回 第7課「おわびする」</p> <p>第9回 第8課「意見を言う」</p> <p>第10回 第9課「予約を受ける」</p> <p>第11回 第10課「サービスの敬語」</p> <p>第12回 第11課「相談を受ける」</p> <p>第13回 第12課「スピーチをする」</p> <p>第14回 第13課「面接を受ける」</p> <p>第15回 まとめとふりかえり</p> <p>日本語 I 学期末試験</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験	25%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	25%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<p>尊敬語と謙譲語の文型、特に専用敬語については繰り返し書かせることでしっかり習得できた。様々な場面を設定して相手との関係を認識して適切な敬語を使い分けられるようになった。ビジネスシーンでの敬語を使った会話を体得させることによって、将来の就職活動や、新入社員としての適切な言動に自信を持たせることができた。</p>						
反省点	<p>敬語を使うべき場面を設定し、コミュニケーションをとれるようロールプレイを取り入れたが、上下関係にある場面が多かった。相手との距離を縮めるために敬語が役立つことを教え、上司や先生だけでなく、友達、先輩、後輩との関係における敬語使用についても体得させればよかったと思う。</p>						
来年度の計画	<p>自然に尊敬語、謙譲語が出るように演習を繰り返し、円滑な人間関係を構築する能力を伸ばし、さらに、複雑な現代社会のビジネス場面においても通用する実践的な敬語運用能力の習得へと繋げたい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>授業に集中しようとする意識が高かったのは、日本社会における敬語の重要性を認識しているためであろう。授業の予習復習に割く時間については格差が見られた。自律的学習の習慣が身に付いている学生とそうでない学生の差をなくせるように協働的な授業展開を心掛けたい。</p>						
履修登録者数	11名	定期試験 受験者数	11名	合格者数	11名	合格率	100%